

ねじりコイルばね—第 1 部：基本計算方法

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	5.4.2 式(20)の下	ばね指数 c の値に対する応力修正係数は、式(20)以外に式(20')などがあるが、式(20)以外の式¹⁾を用いる場合は、受渡当事者間の協定による。 $\kappa_b = \frac{c + 0.5}{c - 0.75} \dots\dots\dots (20')$ 注¹⁾ 応力修正係数の式としては、A.M.Wahl の式、M.Bergsträsser の式などが用いられており、他にも幾つかの式が知られているが、この規格では、最も広く使用されている式(20) (Wahl の式)を採用している。	全文削除

訂 正 票

位 置	誤	正
6.4	ばねに荷重（力）を…，曲げ応力の平均値に乘じるべき係数であって、本体でも記載したとおり応力修正係数を求める式は数種類のものがある。それらの式で求められる修正応力係数の値は、本体に示す制限内で設計されたばねの範囲では、ほとんど差が無く実用的には問題がないと考えられるが、この規格では、最も広く使用されている本体の式(20)で示す A.M. Wahl の式を採用している。	ばねに荷重（力）を…，曲げ応力の平均値に乘じるべき係数であって、本体の式(20)を採用している。

訂正票とは、規格本体以外（解説ほか）に対する正誤を表します。

平成 22 年 12 月 1 日作成